

【基本施策 8】 **重点施策 2** 女性がいきるための支援

- 1 女性が抱えている様々な困難・課題を相談できる体制を強化します。
- 2 多様かつ複雑な健康課題に対応していくために、庁内他課や他機関との連携を強化します。

女性の自殺者数が3年連続で増加し、妊産婦への支援やコロナ禍で顕在化した課題を踏まえた女性の自殺対策を国が当面の重点施策として新たに位置づけたことにより、本市も女性が生きるための支援を重点施策として取り組むこととします。

コロナ禍で、経済的な問題や、配偶者からの暴力などの問題なども顕在化しました。また、妊娠期、子育て期において、精神的不調や家族関係の不和等の課題を抱えていることも少なくありません。

そのような様々な課題に対応していくためには、悩みや不安を抱えている女性が相談しやすい体制を整え、必要に応じて、関係機関と連携しながら女性を支援していく必要があります。

(1) 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

令和6年4月の児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、母子保健部門と児童福祉部門が連携・協働を深め、虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた切れ目のない対応など、市町村としての相談支援体制の強化を図ります。母子保健部門では、母子保健コーディネーターや地区担当保健師が妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を目指して、母子健康手帳の交付時の面接に始まり、相談、家庭訪問、各種健診等を行い、妊産婦や乳幼児が心身ともに健康に過ごせるよう支援します。

(2) 女性が抱える様々な問題に対する相談・支援

夫婦、家族関係、配偶者等からの暴力、セクシャル・ハラスメント等の女性が抱える問題を相談できる体制を整え、解決に向けた支援を行います。

(3) 庁内各課及び他機関との連携強化

課題の多様化、複雑化に対応していくために、対象者の状況に応じて庁内各課及び他機関と連携して、総合的な支援を行います。また、支援者を対象にゲ

ートキーパー養成講座を実施することで、女性に関する悩みや社会問題の把握についての理解を深め、関係機関へのスムーズな連携を目指します。

【基本施策8】女性がいきるための支援

項目	取組内容	担当課等
妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行います。	こども相談課 市民健康課
女性が抱える様々な問題に対する支援	配偶者からの暴力やダブルケア等の女性が抱える問題を相談できる体制を整え、支援します。	地域共生課 こども相談課 商工課 市民健康課
庁内各課及び他機関との連携強化	庁内各課及び他機関との連携を強化します。	地域共生課 こども相談課 生活福祉課 障害福祉課 市民健康課 青少年課 保育課 こども支援課

【ダブルケア】子育てと親の介護を同時に抱えている状態を「ダブルケア」と呼びます。(出典：厚生労働省「平成28年版厚生労働白書」)